



SMSCA

一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

NEWS

No. 79

◆◇1◆9◇5◆5◇ 目 次 ◇2◆0◇2◆3◆◇

- 1 p : 関東ブロック大会 報告
- 2 p : 同上、「関東ブロック大会を終えて」
- 3 p : 個人会員委員会 岩登り講習会報告
- 4 p : 医科学委員会 登山医学講演会お知らせ
トレランニング委員会 トレランのお知らせ
海外登山委員会 ボッカ祭り「雲取山」
- 5 p : 倶楽部探訪 15 『Be One Mt Club』
倶楽部探訪 16 『深谷山岳会』
- 6 p : 遭難対策委員会 山岳遭難防止啓発報告
自然保護委員会 新刊紹介
事務局 便り
清水武司氏 環境大臣賞受賞祝賀会 報告
- 7 p : 編集後書

◆◆◆◆◆S◆M◆S◆C◆A◆◆◆◆◆

R 5 関東ブロック大会報告

- ・7/8(土)～9(日) BaseCamp 入間店にて開催
- ・選手監督 66名(2チーム欠)、スタッフ 90名、一般 158名、報道関係 9名(4社) 計 323名

競技結果 通過県

成年女子：1位東京都・2位埼玉県・3位山梨県

監督：小茂田 利孝

選手：大澤 苺花・野部 七海

少年男子：1位埼玉県・2位神奈川県・3位栃木県

監督：法月 宏昭

選手：山田 航大・長森 晴

少年女子：1位埼玉県・2位茨城県・3位東京都

監督：野村 善弥

選手：武石 初音・金子 千優：

競技結果は上記の通りです、**成年男子：国体出場**を合わせると全4種別が鹿児島国体に出場決定しました。選手・監督の皆さま、そして保護者の皆さまご苦勞様でした。

また、今回「関東ブロック大会」の運営に携わっていただきました SMSCA 所属山岳会の皆さま、入間市の皆さま、埼玉県、JMCSA の皆さま、そして BaseCamp 入間店の皆さま、大変ありがとうございました。

SMSCA HP より転載



ご来賓 入間市長杉島理一郎様 ご挨拶



ご来賓紹介 田中名誉会長(SMSCA)、手前平山大会顧問



選手宣誓「少年女子」武石選手、「少年男子」山田選手



防衛医科大学校 伊藤先生(右から二人目)と医療担当(看護師・看護学生)の皆さん



前列 左から野村少年女子監督、森本リード主任審判(神奈川)、天野総務部長、土屋競技副委員長、小宮山総務委員(山梨)、加藤 SMSCA 会長、佐藤競技委員長、村松審判長(山梨)、山本総務委員(JMSCA)、伊藤医師(SMSCA)ら競技役員・スタッフの皆さん
敬称略・順不同

関東ブロック大会を終えて

SMSCA 会長 加藤富之

8年振りの暑い暑い夏。コロナ禍明けの7月8～9日、例年より3週早く、関東地区では初の営業ジム：BASE CAMP 入間店での開催となった特別国体関東ブロック大会スポーツクライミング競技は、酷暑の訪れる少し前に実施され、皆様のご協力により無事終了しました事、心よりお慶び申し上げます。

これまでの慣れ親しんだ加須市民体育館から、入間市のクライミングジムでの開催という、これまでとは全く違った条件下での大会運営。当初より困難な運営が予想されるため、早くからの取り組みをお願いしましたが、数年に及んだコロナ禍での活動停滞が競技会準備に大きな障害となり、余裕のないギリギリの中での大会開催となってしまいました。

しかしながら多数のスタッフのご尽力と参加されたすべて皆様のご協力により、感動的な大会を実施できました事、深く感謝申し上げます。

大会の結果については、別の報告に任せるとして、この大会を通して SMSCA の課題がはっきりしました。オリンピックの正式種目に採用され華々しい競技となったスポーツクライミング。世界に羽ばたく有能な選手は多いのですが、それを支える人材が不足し、対応できていません。SC 関係

の再組織化を今後の課題とし、現役選手・元選手・保護者・ジム関係者等、広く協力をお願いしたいと考えております。今後とも、ご協力宜しくお願い申し上げます。



平山大会顧問を中に通過証を手にする選手、監督

記録撮影を担当して 高尾 周太郎

まずは「関東ブロック大会」に参加された選手・運営スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。撮影にあたり、一人ひとりの嬉しいことや悔しいこと、活躍が見てわかるよう心がけて記録に収めました。当日の雰囲気伝われば幸いです。

HP にダイジェスト版 掲載 参照ください。
※本誌写真 記録担当 岩井田正昭/高尾周太郎

個人会員委員会：講習会報告



個人会員委員長 秋庭 栄

机上講習会 5月28日(水)シーノ大宮

参加者(一般6,個人3)9人、スタッフ(講師2)6人。

講習内容:

(A班)岩登りロープワーク講習 : 鈴木講師

→ 内容:岩登りでの必要な結び方、ビレーの仕方(流し方)、ハーネスのチェックのやり方

(B班)ハイキングロープワーク講習 : 風間講師

→ 内容:簡易ハーネスを使用した危険地帯を安全に通過する事を講習、プルージック、フリクションノット、エイト結び、トラバースの通過、鎖場の通過の仕方。

岩登りにしてもハイキングにしても覚えることは沢山ありますが、限られた時間の中で決められたテーマをこなして行くと言うのは、参加者講師共に大変そうでした。参加者からは「時間が足りなかった」、「皆さん、熱心で驚きました」、「山行で実践で使えるようになりたい」、「練習してきれいに結びたい」、「コロナ禍で数年ぶりの講習に参加できた」との感想が。講師からは「基本が出来て次に進めますので、しっかりと覚えてください」、「基本中の基本の事をやりました。少しでも空いた時間で反復練習してください」とアドバイスがありました。

実技講習会 7月2日(日)東吾野「阿寺の岩場」

参加者(一般6,個人2)8人、スタッフ(講師2)5人。

(A班)岩登りロープワーク講習はメインゲレンデ手前、小沢を渡ったところにある岩場(3級~4級)を使い、ATCを使ったビレイ操作や懸垂下降の練習。

(B班)ハイキングロープワーク講習はゲレンデ手前の右斜面を使ってロープの基本の結び方、フリクションノット、簡易ハーネス、危険地帯の通過方法などを練習。朝から快晴の週末、熱中症の予防や水分補給の励行を声かけして廻りましたが、皆さん熱心で実技も時間が足りなかった

ようでした。登山には様々な山ハイキングしかやりません、というも少しの装備とロープワークの技術があれば悪場を安全に通過する事が出来ます。岩登りの人にはより特化した道具とロープワークの技術が必要です。

今回は参加される方の趣旨に沿うような班分けを考えてみました。講師が言われるように基本の反復練習が大切で、それから実践に勝るトレーニングはないと思いました。

参加された皆様には暑い中お疲れ様でした。以下に参加された方の感想を掲載します。

写真 秋庭 栄/山口 新二

~~~~~

### 川口市登山同好会 氏原 佐和子

7/2 に阿寺の岩場にてハイキングロープワーク実技の実技講習を受けました。机上講習会には参加できなかったのについていけるか不安でしたが風間講師のきめ細やかな指導の下なんとか覚えることができました。また、色々な結び方をその時の状況に応じ対応しなければならないということ、スピードも大事ということを学びました。丁寧な資料も頂きましたので覚えた結び方を忘れないように毎日(いや時々かも)練習したいと思います。

~~~~~

アルパインクラブ四季彩会 A・T

今回、私は、岩登りロープワーク講習に参加しました。私は、岩登りは初心者で、最初は不安がありました。持っている道具にも心配がありました。そのような気持ちの中、いざ参加してみると、やっぱり、経験者がいて、知識も豊富で、私は大丈夫かなと心配になりました。しかし、それも束の間、机上も実技も終始、雑談を交えながら、和気あいあいとし楽しかったです。講師は鈴木一美先生、机上よりも実践派の方です。机上講習では、エイトノットの作り方を徹底して覚えしました。実技講習では、それぞれが持参したハーネスやスリング・ATC等を実際に見て、触って、比較し勉強しました。人が岩を登るのや、ビレイの流し方を見ながら、横で教える講師の内容を聞き、登り方やビレイの仕方を学び、そして、それを自分も体験し覚えしました。大切な事は分かるまで教えてくれたり、正しく出来ているか確認があり、私は安心し集中して岩を登ったり懸垂下降で下りたりすることができました。今回の講習で体感してみて気づけたことが多くあり、自信になり岩登りが面白いと思いました。また、いろいろな人に出会うことでいい刺激になりました。次回も、是非参加したいです。ありがとうございました。

※編集注 敬称略 SMSCA HP より転載

医科学委員会：お知らせ

—令和5年防衛医大『並木祭』講演会のお知らせ—
**現役脳外科医／山岳医による
スポーツ医学、登山医学の講演会**

日 時：10月28日(土)13:00～15:00
場 所：防衛医科大学校9号館3階 視聴覚室
主 催：防衛医科大学校山岳同好会
司 会 高橋りく(医学科2年・山岳同好会)
座 長 伊藤正孝(再生発生物学講座教授)

演題1：スポーツにおける脳振とうについて
演 者：和田孝次郎先生(脳神経外科学講座教授、
防衛医大S62年卒)

脳振とうは格闘技やコンタクトスポーツのみならず、スキーにおける転倒やクライミングにおける転落、登山における落石事故などでも発生します。適切な対処が重要な脳振とうの病態について、易しく解説していただきます。

講師略歴



和田 孝次郎 先生
防衛医大昭和62年卒
専門は脳神経外科学
防衛医大スキー部部长

演題2：低体温症について
演 者：伊藤 正孝 先生(国際認定山岳医、
防衛医大H3年卒)

低体温症は山岳遭難死の大きな原因の一つになっています。低体温症の発症のメカニズムと予防と対処に必要な知識をお伝えします。



専門は組織・発生物学
防衛医大山岳同好会部長
埼玉県山岳・スポーツクライミング協会理事(医科学委員長)
日本登山医学会専門医

最近登った山は「仙丈ヶ岳」と「富士山」
好きな山は「和名倉山」と「雲取山」
低酸素曝露マウスを用いた登山医学研究を実施中です。

当日は『並木祭』開催中、一般公開の講演会です。何方でも入場出来ます、予約不要。
西武新宿線「航空公園駅」下車徒歩約10分
アクセス <https://www.ndmc.ac.jp/access/>

トレイルランニング委員会：お知らせ



第9回 FunTrails Round 秩父&奥武蔵 100K/30K

開催日：11月18日(土)～2023年11月19日(日)
開催地：埼玉県秩父市：羊山公園
エントリー期間：
7月3日 10:00～10月15日 23:59
公式サイト：<https://fun-trails.com/race/100k>

秩父を基点にグルッと1周！100Kと30Kのトレイルをお楽しみください。開催地の名産品を味わえる美味しいエイドもあり♪皆様のご参加、お越しをお待ちしております！詳細は上記公式サイトを参照ください。

関係する全ての人・地域が楽しめる大会！選手だけが楽しい！ではなく、環境に優しく、ハイカーとトレイルを共有し、スタッフも楽しめる。人と地域が一体となり盛り上がる大会を目指します。

※運営協力：SMSCAトレイルランニング委員会
委員長 石倉 昭一

海外登山委員会：ご案内

2023年度「ボッカ祭り」開催！
雲取山荘の冬の風物詩の「こたつ」。燃料の「豆炭」は、ボッカ人力で運び上げているのです。
冬シーズンに向けたトレーニングも兼ねて、「豆炭」を山小屋に届けてみませんか？参加クラスはボッカ重量5kg～20kgの4クラスとサポート隊。
主 催：海外登山委員会
期 日：2023年12月3日(日)
コース：三峰神社から雲取山荘ピストン
参加資格：SMSCA加盟団体会員、個人会員
※要項詳細についてはホームページを参照下さい。
<https://www.smsca.or.jp/>

SMSCA(サムスカ) 倶楽部探訪15

団体名 Be One Mt Club

創 立：平成31年8月(2019年)
 代 表 者：河地 尚志
 会 員 数：合計7名(男：5名・女：2名)
 新入会員の募集状況：募集中
 連 絡 先：〒356-0003 ふじみ野市
 担当 河地 尚志
 TEL:080-1387-6175

集会日時：不定期
 集会場所：東武東上線 上福岡駅周辺

活動内容：ハイキング・縦走・アルパインクライミング・冬山(雪山)・山スキー・冬季登攀・アイスクライミング・海外登山・スポーツクライミング

会の紹介：登山教室を中心に活動。自立した登山者を育成する目的でプロガイド、山岳コーチ、現役選手が集まり創設されました。登山初心者、入門者、バリエーションルートに行ってみたい人を対象にしています。自身で判断、企画、行動ができるようにコーチさせていただきます。50代～60代が中心、登山教室をメインにちょっと背伸びをしたルート選定をして活動しています。体験講習会を受講いただき納得いただいてから入会いただいています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

会員募集：年齢や性別、経験は問いません、体験講習会にご参加いただき入会されるかどうか検討いただいております。

ホームページ <http://b1mt.club/>
<http://b1mt.com/>



SMSCA(サムスカ) 倶楽部探訪16

団体名 深谷山岳会(ふかやさんがくかい)

創 立：昭和39年4月1日(1964年)
 代 表 者：加藤 富之
 会 員 数：19名(男性：17、女性：2)
 新入会員の募集状況：募集中
 連 絡 先：〒370370-0421 太田市粕川町甲522
 加藤富之(リーダー)

E-MAIL: bunta@ps.ksky.ne.jp
 携 帯：090-4705-3579
 集会日時：毎月1回 第1or第2木曜日 19:30～
 ZOOM例会：毎月1回 第3or第4木曜日 20:00～
 集会場所：深谷市役所くれよんかん
 深谷市萱場14-9 TEL:048-573-5770

活動内容：縦走、岩登り、沢登り、アルパインクライミング、雪山、アイスクライミング、フリークライミング、山スキー、海外登山

会の紹介：オールラウンド登山を目指し、各自の得意とする分野で山行を楽しんでいます。春・夏・冬合宿と岩登り、沢登り、アイスクライミング、雪上の各講習会を実施。深谷市民対象の市民登山教室(今年第41回)やクライミング教室、市民ハイキング大会、市民クライミング大会(今年第23回)も主催。個人山行は年間100を数え、海外登山もたまに。年会費12,000円、共同装備充実、いつでも使用可。山岳保険加入必須。

会員募集：通年募集です。性別、経験は問いません。意欲のある方大歓迎。特にアルパインクライミングや沢登り、アイスクライミングをやってみたい方は、要メール。例会に参加してみてください。

ホームページ <http://blog.livedoor.jp/fukaya1964/>



遭難対策委員会：活動報告

両神山山岳事故遭難防止啓発活動



日向大谷登山口・安全登山キャンペーン

実施日：2023年8月11日(金)

実施場所：両神山日向大谷登山口

主催：埼玉県警地域総務課

小鹿野警察署(山岳救助隊)、秩父環境管理事務所、危機管理防災部消防課、SMSCA(秋庭、大沼、瀬藤+1) 登山計画書：5件

内容：7:15 会場設営 7:30 啓発活動開始
駐車場には多くの車が止めてあるがすでに入山済であり、後続の登山者を待つが8:20時点で3パーティーと8月のシーズンに入っているが異常に少ない。その後、9:30まで待つが2パーティーのみ入山。他の登山口の状況を聞くと天候の影響か登山者は少ないようであった。その分登山者一人一人に丁寧な啓発を行えたと思う。

※同日・武甲山登山口 秋元他3

※編集注 本文/写真 遭難対策委員長 瀬藤 武

自然保護委員会：お知らせ

新刊紹介 これでもいいのか登山道 第2集

“めざそう、みんなの「山の道」報告書”のご案内

前回、2021年8月の「山の日」にあわせて、「これでもいいのか登山道 第1集」の報告書を作成した折には、全国各地から賛同のご意見をいただくとともに、マスコミの取材や関係団体等から紹介記事の依頼が多数あり、登山道の抱える現状と課題が、想定を超えて拡散してきました。その後、山と溪谷社が「ヤマケ



イ新書」として同じタイトルで刊行したことも、登山道問題への関心の高さを反映したものと認識しています。

この度、第1集に関心を寄せていただいた方々を中心に、現場で登山道整備に尽力している状況、登山道の望ましい管理のあり方、登山道法制定への期待などについて寄稿をお願いし、「私たちにできることは何か」を副題に、第2集の報告書を作成しました。「日本の山は誰が整備し、誰が管理しているのか」、この疑問から登山道法構想はスタートしました。今回、第2集への各分野からの多種多様な寄稿により、登山道の維持管理が一筋縄ではいかない、複雑な状況下に置かれていることが、より鮮明に浮かび上がってきました。

それらを踏まえて、これから取るべき方策についても、具体的な提言を掲載することができました。ご希望の方には、下記のとおり実費頒布を致しますので、ご案内申し上げます。

制作：登山道法研究会

体裁：A4判・オールカラー・160ページ

実費頒布：1冊1,000円

連絡先：埼玉県山岳・スポーツクライミング協会
自然保護委員会 堀江 伸子(ホリエブコ)

Mail:nokko.ho@jcom.home.ne.jp

TEL:090-4821-1398

頒布方法などの詳細についてはSMSCA HPを参照ください。 <https://www.smsca.or.jp/>

※執筆者にSMSCA会員(敬称略)による寄稿。

富士田 始 TEAMやまあるき

新井 靖雄 秩父山岳会

堀江 伸子 登山道法研究会員(桜草山の会)

事務局たより：



清水武司氏環境大臣賞受賞祝賀会

日時：2023年6月10日(土)13時～

会場：ホテル美やま

「令和4年度自然公園関係功労者環境大臣表彰」

ALP K2®

自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。



季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させて頂きます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聞こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している
田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております